

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	構造設計における冗長性と性能最適化小委員会		主 査 名：竹脇 出 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築構造設計に関わる冗長性の概念の分析とそのモデル化および定量化、さらには、性能最適化された構造物とリダンダンシーを重視した設計の関係等について調査・研究を行う。 ・ 2009：リダンダンシー・性能最適化などの概念に関する調査研究 ・ 2011：大会 PD、2012：応用力学シリーズあるいはセミナー用資料として公表 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：		
	竹脇出 (主査・京都大学), 山川誠 (幹事・京都大学), 浅岡泰彦 (大林組), 朝川剛 (日建設計), 磯部大吾郎 (筑波大学), 伊藤拓海 (東京理科大学), 寒野善博 (東京大学), 曾我部博之 (愛知工業大学), 高田豊文 (幹事・滋賀県立大学), 趙衍剛 (神奈川大学), 中川佳久 (安井建築設計事務所), 福田隆介 (鹿島建設), 中村尚弘 (竹中工務店)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2009 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 各委員によるこれまでの研究の情報交換を行い、小委員会活動の方向性について議論を行った。ほぼ予定通りの成果を得つつある。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 各委員によるこれまでの研究の情報交換では幅広い分野となったため、次年度以降は少し範囲を狭めて、テーマを絞りたいと考えている。 2. 冗長性についての用語の整理をさらに進めたい。